

「カモメに飛ぶことを教えた猫」 体育館公演

—文化庁主催『本物の舞台芸術体験事業』—



大道具、照明、音響などの荷物は、劇団の4tトラックと2tトラックレンタルカーで運搬します。



搬入を終えたトラックの様子。両車両共に荷物満載でした。右写真は2tトラックに仮設張り出し舞台が積まれている様子。



出演者は2台のワゴン車に分乗して移動します。



右上の写真は10月23日に訪れた、山梨県の菱山小学校の体育館です。そしてグラウンドの向こうにはドウ畑、更に山並みが、絶景かな！
左下の写真は25日に訪れた塩山北中学校の体育館裏からの景色、こちらも絶景！
仕事の疲れを癒してくれます。
右下は23日に宿泊した温泉旅館、おいしい料理、おいしいワイン、最高だ！



体育館の平場に設置



舞台を利用せずに、平場(床)に大道具を設置した例です。これから後ろに大黒幕、両脇に袖幕と袖パネルを仕込んでいきます。まだまだ仕事は続きます。

体育館の舞台面を客席として利用した例です。観やすくするための工夫です。



舞台裏です。右の写真は大黒幕を吊る準備が出来たところ。パイプがパネルの後ろに見えます。左の写真は詩人の部屋のバルコニーへと続く階段です。



体育館の舞台上に設置



体育館の舞台を使用して舞台を作った例です。舞台前面に間口10間、奥行き1間の仮設舞台を作り、その上に大道具を設置します。

下の写真は仮設舞台にもぐって撮った写真です。鉄足に6尺×6尺の平台をのせて作ります。ちょっとわかりにくいね。右下の写真は、体育館の梁に滑車を仕込んで袖幕を吊り上げているところです。

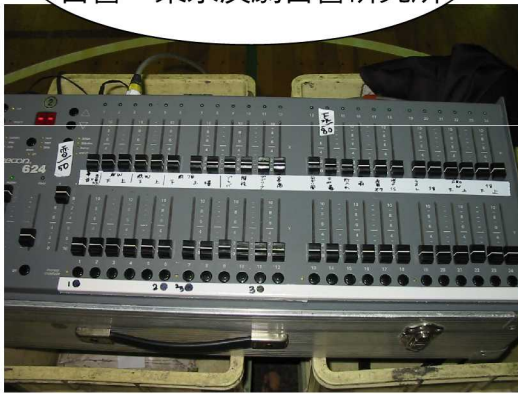
* 1間=約1.82m 1尺=約30.3cm



楽屋は道具倉庫、奈落、放送室等、空間があればどこでも楽屋に早変わり！楽屋は女優さんたちが作ってくれます。掃除から始める体育館の楽屋作りは大変な仕事です



照明と音響
 照明=東京舞台照明
 音響=東京演劇音響研究所



☆照明☆
 イントレという枠組み足場を3段組にして、照明機材をを吊りこみます。左の写真は袖に設置されたハイスタンドに吊りこまれた照明。右の小さな写真は電源ユニットBOXです。照明さん以外触れることは許されません。



客席側の一番奥に設置されたピンスポットです。この他、ギャラリーにも数台の照明機材が設置されます。

☆音響☆
 音響のオペレーター卓です。様々な機材が並んでいます。舞台には大きなスピーカーが5台設置されています。その他にワイヤレスマイク2本、影マイクなど、大忙しです。

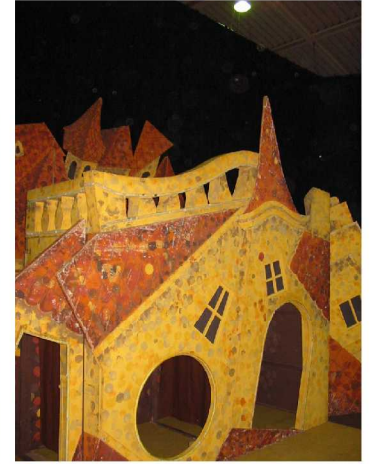


『子どもたちにこそ最高の舞台を！』

劇団仲間はより良い舞台を創る為の
 労力を惜しみません。
 その努力は子どもたちの反応となっ
 て必ずかえって来ます。
 そして、それこそが我々のエネルギー
 となり、明日を見つめる糧となるので
 ず。

原作者はこの作品でこう語ります

異なるものを認めたり愛したりするこ
 とはとて難しい。
 でも我々には、それが出来るようにな
 った。



開演前、子ども達とのリハーサル風景です。本物の舞
 台芸術体験事業では子ども達が三つのシーンに参加
 します。幕開きのカモメのシーン、右は2幕のネズミ達
 のシーンです。猫たちのシーンもあるのですが、我輩の
 デジタルカメラに画像がありません。ごめん！
 劇団仲間のホームページの旅日記を見てください。



出番を待つ
 カモメたち



ハリーのバザールの
 番人、いや番猿、
 マチアスの小屋



博士の部屋に
 置かれた百科
 事典の棚